

## 平成 25 年度第 1 回久米地域審議会会議録

日 時	平成 25 年 5 月 16 日(木) 9:30 ~ 11:21	
会 場	津山市久米支所 2 階大会議室	
久米地域審議会委員	11 名(欠席 1 名: 田村委員)	
津山市		宮地市長
	地域振興部	植月部長、皆木次長、(久米支所)高本支所長、半田課長、浅岡課長、岸本参事 村島主幹、津本主幹、山口主査、野條主任
	本庁	(危機管理室)谷原参事 (生涯学習課)峪川課長、明楽企画調査官
	ｸﾘｰﾝｼﾞｬﾝ- 建設事務所	上田所長、平井次長、河島次長、甲田次長
傍 聴 人	4 名: 尾埜照将、国米まゆみ、山田誠、零健子	

開 会 ( 9 : 3 0 )

事務局

只今から平成 25 年度第 1 回久米地域審議会を始めます。この 4 月の異動で久米支所勤務になった職員を紹介します。

- 異動 4 職員挨拶 -

事務局

引続き出席の職員以外は帰ります。審議会の概要、今年度の開催計画をご説明いたします。(資料説明) 続いて委嘱状を交付いたします。

— 出席全委員に委嘱状交付 -

事務局

正副会長を互選で決めていただきます。如何いたしましょうか。

委員

全員再任なので、正副会長も再任が良いと思います。

事務局

そう言うご意見がありましたので、前期の正副会長さん再任でよろしいでしょうか。

— 全委員賛同 -

事務局

それでは会長副会長、席の方へ移動いただき、ご挨拶願います。

会長

合併後 8 年経過しその間、委員の皆さんのご支援とご努力により、その任を勤めることができました。皆さんと共に更に後 2 年を頑張っていきたいと思えます。よろしく願います。

事務局

有難うございました。それでは市長、挨拶をお願いします。

市長

ご出席有難うございます。皆様の市政へのご理解とご支援にお礼申し上げます。現在本市の人口は急激に減少し、少子高齢化が進んでいます。平成 17 年と平成 22 年との国勢調査を見るとその間約 3 千 8 百名も減少し、この減少を食止める事は重大な政治課題と考えます。今後共審議会を中心に地域の将来を議論いただき、協働の町づくりを進めなければならないと考えます。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

事務局

委員の皆様にご自己紹介をお願いします。田村委員様から欠席の連絡をいただいております。

ー 出席委員自己紹介 -

事務局

それでは議事に入ります。会長、お願いします。

会長

議事を進めます。刈-センターについて経過報告願います。

事務局

前回の久米地域審議会以降の経過を報告します。2月19日の津山圏域資源巡回施設組合議会2月定例会で平成25年度会計予算、24年度会計補正予算の決裁をいただき、2月5日の組合管理者会第5回会議に於いて、組合議会2月定例議会の議案協議等を行いました。3月22日、津山圏域刈-センター還元施設検討委員会第1回会議を開催しました。前所有者が行なった残土処理跡地の土壌調査をした結果、一部調査地点で砒素の溶出だけが基準である0.01mg/lに対し最大で0.016mg/lとなりました。僅かに超過して居り、環境化学の専門家は、周辺環境へ影響を及ぼすことはない程度と考えられるとの見解でした。土壌調査結果の中間報告を受け、3月22日の第6回組合管理者会議では、対策等の確認がなされ、更に最終結果をもって4月21日、久米公民館に於いて、土壌に関する説明会を開催しました。この土壌調査結果について、再考を求める住民の会から安全対策を組合管理者に申入れがあったところです。継続中の金員支出差止等請求訴訟は、4月18日第13回弁論準備では本件と類似する三重県の鳥羽志勢広域連合の尿尿用地賃借料返還訴訟で首長の裁量権を認める最高裁差戻し事例が示されました。次回6月19日の第14回弁論準備に被告である組合が纏めになる最終準備書を提出して、その後原告の反論を経て結審すると、事務局は考えて居ります。5月14日第6回津山圏域刈-センター整備運営検討委員会では、管理棟の中に整備するリサイクルプラザの基本設計案が承認されました。工事の進捗状況等は、施設建設課からご説明します。

事務局

現地の進捗状況についてご説明します。津山圏域刈-センター敷地造成工事は、(株)大本組(株)平井組(株)ワカコーポレーション特定建設工事共同企業体が施工して居ります。現在、作業は伐採を約8割終えて居り、次に施設建設エリアに至る工事用道路を並行して作って居ります。防災のための調整池工事も進めて居ります。この地区の3つの既存の溜池には雨降りの際、濁水の流出は避けられず、濁水処理施設も設けて居ります。この造成工事は区域の東側から西側に約30万㎡の土を動かす工事で、これから本格的作業に入ります。振動騒音等気を付けるべき事項は沢山あり、これから地元の皆様に十分な説明を行い工事を進めたいと思います。以上です。

会長

ご質問がありますか。今まで工事に対する地元からの苦情は出て居りませんか。

事務局

重機が民家の近くを動き、騒音がやや大きいと言う事で、担当者が訪れてご理解を求めて居る状況で、また現場の状況が地元の方に分かり難いと言う事で領家の方を対象に、希望の方に現場を歩いて見ていただき、一層のご理解をいただきたいと思いますと考えて居ります。

会長

業者の作業上の問題点は今のところは特にありませんか。

事務局

業者は、環境或は音、振動、埃には、充分気を付けて工事を施工して居りますが、民家が近く、工事も大きく、その辺を重ね重ね説明し、ご理解をいただいております。

会長 他に委員の皆さん、ございませんか。次に久米山ふれあいロッジについて説明願います。

事務局 久米山ふれあいロッジは、昨年津山市版事業仕分けで廃止と判定されました。生涯学習施設としての廃止が即施設の撤去、売却と言う意味ではありません。生涯学習施設としては廃止ですが、久米地域の振興或は経済効果を考慮すれば今後の活用に充分検討が必要と、今年3月議会に於いて部長が答弁し、生涯学習施設としての廃止後の有効活用案を平成25年度の上半期を目途に市役所全体で検討して居ます。

会長 委員の皆さんからご質問ご提言ございましたらご発声願います。

委員 廃止となると宿泊利用が無理と言うことですか。

事務局 地域の振興、経済効果についてベストな活用案をいただければと思います。

委員 今まで利用し易く、安いのが売り物だった。是非その施設を継続して欲しいと要望します。

事務局 久米地域に取ってどのような活用案が一番良いか、或は市全体としても考えなければならぬのですが、現在の機能維持が一番重要と理解させていただければよろしいでしょうか。

会長 宣伝が不十分で、皆さん良く知られてない事もあるんじゃないでしょうか。

事務局 指定管理者もP.R.等には努力して居り、宿泊者が年間2千名一時利用者も含めて3千名強のご利用があり、総利用者数は多いと理解して居ます。

委員 昨年、震災の被災家族をお呼びし、特に喜ばれたと聞き、そう言うのを参考にされたら。

事務局 福島っ子さんの事業も生涯学習課の事業で、そう言った活用も充分承知して居ります。

会長 その次はその他となって居りますが、事務局で提案する案件はありますか。

事務局 地域振興基金の残り約4千2百万の用途を26年度予算に反映するよう協議願います。また、審議会の先進地視察が今年度となって居り、視察先の要望を聞かせていただきたいと思います。

会長 先進地視察について皆さんのご意見を纏めたいと思います。どう言う項目どう言う所を研修したら良いかお考えがあればご発言願います。ここで5分間程休憩します。

— 休憩 —

会長 再開します。視察研修の案が浮かびましたか。事務局にも考えてもらい、また評議する事にしましょう。振興基金の件は手許に二つ程印刷物を配って居ります。これは私の方にあった問合せに基いて提出された物です。一つはスポーツ関係、二つ目は教育関係、資料はありませんが防災無線の件、学習館に関するパソコン更新の話もあります。本席で具体的に評議する段階ではないと思いますが、改めてこの問題に絞って評議すれば良いと思います。もう一つ、倭文保育所跡地利用について報告を兼ねて申します。4月30日市当局から話があり、事業内容によっては使える

補助の見通しがあると言う事でした。急遽の話であり、倭文地区の当審議会委員さんと連町支部長さんとお集まりいただき、跡地利用の適当な方法をそれまでの要望も踏まえ協議しました。これ迄3つ程話がありましたが、結果駐車場の要望が強いと言う事でした。その方向で市の方で進めてもらえるようお願いいたします。事業的なもの等、概略を説明願います。

事務局

駐車場との意見をいただいて居り、この場で市に要望的な事をお願いできないかと考えます。

会長

跡を駐車場にさせていただき、審議会と併せて地元の意向を含め、要望書を市へ提出します。財源的には振興基金を充当せずお願いできれば非常に有難い。振興基金について改めて会議をするので、お手許の資料をご理解願います。これ迄皆さんからの発言が残って居ませんか。なければ市長さんとの懇談に入ります。市長さんとの場で皆さんの意見交換をしていただきたいと思えます。先ず、私から。市政の今後の展望をお聞かせください。

市長

多くの課題がある市政に、ご理解とご支援をいただき有難うございます。職員在職中、色々な方々が非常に強引に行政介入し、行政が流される現状を感じました。これには津山警察署や県警本部の意見を伺い、いち早く暴力団排除条例を作り、議会承認されました。条例を作り具体的事案には即座に対応すると津山警察署、岡山県警本部と協定しました。現状として強引に今まで言っていた者が、市に言い難くなって居ます。職員には話はレコーダーで録音するよう伝えてあります。特に近年報道の方が伝えられるのか、市長は頻りに津山署へ通うと言う話がかかり市中へ出て居ります。ごみ処理センターも非常に大きな公共事業であり警察、行政、業者も入って協議する場を設けました。この姿勢は岡山県警察本部等から非常に評価されて居ます。また市の負の遺産を整理しなければなりません。土地開発公社は百50億の膨大な借金を抱えて居り、丁度第三セクター等改革推進債と言う非常に有利な制度がありそれを活用して、30年の永い期間で、行財政改革を徹底して行いながら解決します。それから中心市街地の活性化基本計画を、今年3月に内閣府へ提出して一応承認をいただきました。これから5年間で事業等を行います。私は津山にとって農業も含めて産業振興、活性化が大切と思えます。何れにしても山積する行政課題に議会と真摯な議論を重ねながら、精一杯努力します。

会長

現在、財政危機と捕らえられると思いますが、改善策を考える必要があると思えます。津山市の行政機構の見直しから4,5年になりますが、行政効率を上げるため機構の点検、見直しも必要と思えます。どう言う構想がありますか。

市長

財政問題が非常に重要です。国の交付税は減少し、歳出を抑制せざるを得ず、土地開発公社の解散に伴い、ここ30年間で試算すれば4百52億節約しなければならず、今日午後から行財政改革推進委員会を行い、ご審議をいただきます。国は人件費抑制についても地方主権と言いながらも介入して来ています。議員報酬も含めどの部分から抑制をするか大きな課題です。

会長

才能を発揮され、効率的な市政をお願いいたします。他の委員さんありませんか。

委員

畜産環境施設と言う糞尿処理施設も事業仕分けで決まって補助が止まり、管理者も変わったと聞きますが如何ですか。

事務局

市長への質問ですが、支所の関連なので説明いたします。指定管理と言う考え方は全く持って居りません。しかし直営でやる事にはならず、アグリファースト株式会社が受託されました。現状ではこう言った状況で存続させてもらいます。

委員 存続できる態勢だけは整えていただきたいと思います。

事務局 委託料をゼロに、直ぐ止めると言う事は考えて居りませんのでご安心ください。

委員 糞尿のみならず給食施設の処理もしているので、その辺も考えに入れて進めていただきたい。

委員 教育文化、保育等と言った目に見えない先の先行投資にも一層の充実をお願いします。

市長 津山市は歴史と文化と教育の街と言われながらも遅れているのも事実です。歴史や文化を後世に伝えるためにもご発言いただいた気持ちを充分受止めたいと思います。

委員 消火栓の看板、防火水槽の維持管理はどう言う基準でなされていますか。

事務局 その基準について直接の担当がこの場に居ないので後程ご連絡したいと思います。

委員 柱も腐食し、もう塗装も剥れた状況があります。

事務局 後程、資料を見まして確認させていただきます。

会長 基金投入について、防災無線の現状を説明いただきたい。

事務局 防災行政無線の更新事業、更新整備につき、FM放送の活用や起債について調査研究をして居ます。26年度以降の方針については、今秋を目処に決定して行きたいと考えて居ります。

会長 事業の見込みがある程度確定すれば、基金の使途の方向も決まって来るので、防災行政無線の見直しは、9月までには分かるんですか。

事務局 今年度の秋を目処に決めて行きたいと考えます。

会長 できるだけ早く知りたいのですが、基金の扱いについてはまた別途協議します。

委員 北部支場の跡地はどうなっていますか。

事務局 県も全体譲渡と言う考え方です。現在の段階では市が全体の利活用をどうするか計画等作成して居る段階です。

会長 クリ-ンセンターに関しては引続き地元振興に、力強いてこ入れをしていただき、事業進捗を図っていただきたいと思います。よろしくをお願いします。

市長 ごみ処理センターは造成工事に漕ぎ着け、有難い事でございます。公民館については上段から出入りできる方法はないものかと思いました。

会長 良い方法が出た場合は金がかかりますので、その時は市長も遠慮せず金を出してください。

市長 折角の施設ですので皆さんも思われとると思います。

会長 時間も迫りました。マイクを事務局の方へお返しします。

事務局 引籠もりの若者支援をする、つやま地域若者拠点センターが県北の拠点と言う事で、4月にオープンし、支所1階に入居しました事をご報告します。

会長 以上を持ちまして本日の審議会を閉会いたします。大変に有難うございました。

閉会（11:21）